

経営学部教育改善プロジェクトALPJ主催シンポジウム

社会科学系学部にとっての 教育方法の将来像

—魅力ある経営学部であり続けるために—

日時：2015年7月15日（水）14:50～16:20

場所：21号館6階645教室



【基調講演】（40分）

「日本一の経営学部になるには」

山内 太地氏（一般社団法人大学イノベーション研究所所長）

【パネルディスカッション&全体討論】

團 泰雄（近畿大学経営学部教授）

安酸 建二（近畿大学経営学部教授）

【司会兼パネリスト】

山縣 正幸（近畿大学経営学部准教授）

☆フロアからの積極的な議論を希望します！建設的なご発言&議論を期待します！！

【参加対象】

近畿大学教職員，経営学部学生

連絡先：yamagata_mas@bus.kindai.ac.jp（山縣正幸）

【開催の趣旨】

少子化やグローバル化など、いま経営学部をはじめとする社会科学系学部が直面している課題は、授業のあり方を大きく変化させようとしています。そのようななかで、

- ☆ 「近畿大学経営学部で学んだ学生が、長期にわたって活躍できるような力を身につけることができるようにするためには、どのような授業のあり方（個々の授業&授業どうしのつながり=カリキュラム）が望ましいのか」
- ☆ 「それを可能にするためには、こういった取り組み（教員&教員組織、職員&事務組織、学生 etc.）が必要なのか」
- ☆ 「その取り組みを進めていくためには、どのような条件（ハード&ソフト）を整備していかなければならないのか」

を真剣に考え、そして実行に移していかなければなりません。

そこで、本シンポジウムでは日本のみならず海外の諸大学の事情に詳しい**山内太地氏**をお招きし、近畿大学経営学部に求められる課題などをお話いただくとともに、実際に経営学部にかかわっている教員、職員、そして学生のみなさんの建設的な議論を通じて、「近畿大学経営学部が魅力的なものとなるためには、どうすればいいのか」を具体的に考えていきたいと思えます。